

# 安全な暮らしをサポート!

知って 納得

# しっとくさっぽる

毎日を安心して暮らすために、心掛けておきたいことを物知りギョウ太が解説します

第4話

電気火災に  
気を付けて!

## 登場人物



**ギョウ太**

南区で太古の化石が発見されたジュゴンの仲間「サッポロカイギョウ」の子孫。世話好き



**ヒロキ**

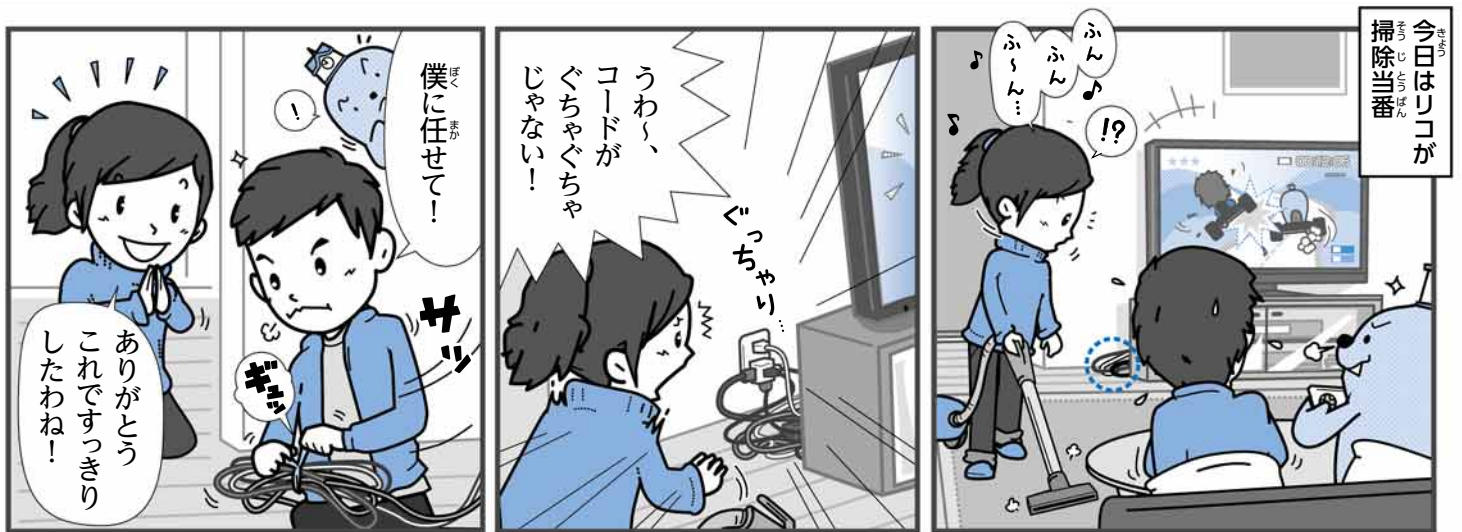
道外出身で寒さが苦手。少しドジだが、どこか憎めない



**リコ**

ヒロキの2歳年上の妻。ヒロキの失敗をいつも優しく見守る

このページに関する問い合わせは予防部予防課 ☎215-2040



電気火災を起こさないために、注意してほしいポイントがあるんだ！



# 電気火災を防ぐポイント

## 1 コンセントやプラグにほこりをためない

プラグ周辺にほこりや湿気があるとプラグの刃の間に電流が流れ、火災の原因になることがあります。特に洗濯機の周りは、衣類からほこりが出やすく、水を使う場所でもあるため要注意！

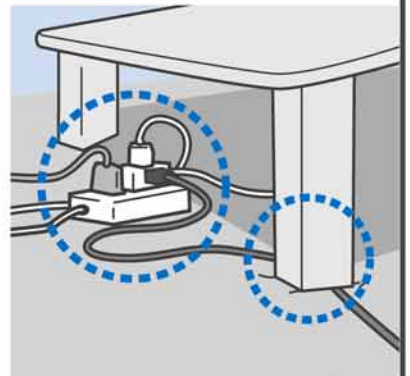


予防のポイント

- ・プラグはコンセントにきちんと差し込む
- ・コンセントの周りを定期的に掃除する

## 2 たこ足配線にしない

コンセントや電源タップの許容量(一般的には1500ワット)を超えると、発熱して出火する恐れがあります



予防のポイント

- ・使用していないプラグを抜く
- ・家電量販店などで販売している節電タップを利用する

## 3 電気コードの上に重たい物を置かない

家具などの重たい物の下敷きになるとコードが断線し、その部分が発熱して出火する恐れがあります



## 火災警報器があるか確認を!

昨年、火事で亡くなった方の住宅のほとんどで火災警報器が取り付けられていませんでした。命を守るために、必ず設置しましょう。また、火災警報器は、電池の寿命や、センサーなどの部品の劣化により作動しなくなる恐れがあります。万が一に備えて、10年を目安に本体の交換をお勧めします。



設置が義務付けられている場所はこちら

一軒家の場合

寝室



台所



階段



※マンションなどで住宅部分に自動火災報知設備がある場合は、火災警報器の設置は必要ありません

火災予防について詳しくはホームページをご覧ください

札幌市 住宅火災を防ぐ

検索